

■ボランティア委員会

「札幌南一条病院ボランティアの会」は平成19年4月に発足しました。

ボランティアは札幌南一条病院の入院・外来の患者さんやご家族、並びに全ての来院の方々に真心をもって接し、癒しとやすらぎの雰囲気を作ることにより市民に愛され信頼される病院となるよう努めます。

また、会員の方が楽しさとやりがいを実感できるように努め、活動を通じて地域社会と病院との橋渡しとなり「地域に根ざし開かれた」病院づくりを目的とします。

活動内容

- (1) 来院・入院患者またその家族への案内、誘導など
- (2) レクリエーション参加（七夕、クリスマス会、敬老会、毎月の誕生会など）
- (3) 話し相手、傾聴、本の読み聞かせなど
- (4) 車椅子の補助、移動、散歩の付添いなど
- (5) 院内の環境整備（本・パンフレットなどの整理整頓、草木の手入れなど）
- (6) その他目的を達成する為に必要な活動を行います

昨年5月、応募していただいた23名のボランティアさんと共に、試行錯誤しながらスタートしたボランティア活動も、ようやく1年を迎えました。事故やトラブルなくここまで無事にこられたのは、明るく一生懸命活動してくださったボランティアの皆様の努力と、病院側のご理解、職員の皆様の温かい声かけや見守りがあってこそ、と感謝の気持ちでいっぱいです。

残念ながら、途中で何人かの方が学校や仕事、家族の都合などでやめられましたが、残ったボランティアの皆様が精力的に活動して下さったお陰でここまで継続することが出来ました。

患者様やご家族、職員の方々からも良い評価を頂き、嬉しいかぎりです。

4月には新たに9名の方にご登録頂き、5月からは21名で活動予定です。

ボランティアさん方の「患者様に喜んで頂けるような活動をしたい」という貴重な気持ちを大切に、またボランティアさん自身も満足して頂けるような活動を継続していきたいと思っています。

皆様のご協力よろしくお願い致します。

活動の詳細につきましては、院内会議の報告内容と、院内報をご参照下さい。

♪♪ MSWの奥山さんが新メンバーに加わりました ♪♪

【ボランティア委員会 メンバー6名】

多田 悦子（6階）、中野渡 悟（透析）、高橋 義之（総務課）、小林 恵子・奥山亜由子（MSW）

文責 中尾 映子